

直鞍合併に関する特別委員会報告

直鞍合併に関する特別委員会が平成16年1月14日（第7回）と、平成16年2月20日（第8回）に開催されました。

委員会では、第9・10回直鞍合併協議会で協議された新市将来構想、合併の期日、新市の事務所的位置などについての説明があり、それに対する質疑が行われました。

若宮町離脱表明以降の経過

- 2月26日 若宮町が合併協議会離脱を表明
- 3月4日 全員協議会開催
- 3月26日 宮田町が合併協議会離脱を表明
- 3月29日 全員協議会開催
- 4月12日 宮田・若宮両町が「2町合併」の法定協議会設置議案を可決
- 4月16日 全員協議会開催

合併問題に関して全員協議会を開催

2月26日に若宮町が直鞍合併協議会から離脱表明以降、議会では全員協議会を開催し、今後の取り組みについての協議がなされています。

3月4日

2月26日に直鞍合併協議会から若宮町が離脱表明したことの報告を町長より受けた後、質疑を行いました。

（離脱理由）

若宮町としては、本年2月に実施した住民説明会の声や、直鞍合併協議会に対する若宮町の要望事項に対する協議内容を踏まえた上で、将来の合併効果は小さいとの結論に至ったため、離脱を決定した。

（主な質疑）

若宮町の離脱によって、今後一市三町はどう取り組むのか、直鞍合併協議会はどうなるのか。

町長

一市三町が最善の方法であると考えているので、合併について慎重に検討、研究を重ねていきたい。

また、直鞍合併協議会は解散するのか、現行規約の一部改正でいくかは、それぞれの議会の承認になると思います。

3月29日

3月26日に宮田町も離脱したことの経過が町長より報告された後、議員の意見を聞きました。

（離脱理由）

若宮町とは、様々な共同事務処理を行っていること、宮田町のトヨタをはじめとする工業団地、若宮町の農業、温泉、インターチェンジを整備した「商工業と農業、観光が共存するバランスのとれたまちづくり」を目指すことが最善の選択肢であると考える。

（主な意見）

- 一市四町の一枚岩が崩れたのだから、一市二町という枠組みではなく、一度白紙にもどして、鞍手町の体制を立て直して、新たにやり直すべき。
- 町民の声を聞くために住民投票の条例を作るべき。

●一市四町が駄目なら鞍手郡四町ではどうかなどの意見が出されました。

4月16日

4月12日に宮田町、若宮町が法定協議会設置の議案を可決しました。現在の一市四町の法定協議会はどうするのか。

また、鞍手町議会として今後どのようにしていくかと言うことで、議員の意見を聞き、意向調査を実施しました。

（主な意見）

二町が離脱したので、一市四町の法定協議会を白紙に戻して、夢と希望の持てる新たな枠組みを早急に決めるべき。

意向調査の結果

※議長を除く	15人
（直鞍合併協について）	
白紙に戻す	15人
郡内	9人
一市二町	3人
単独	2人
一市四町	1人
（枠組みについて）	